

2020年 3月 22日

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会
奏 楽
祈 禱
賛 美
主の祈り
聖 書

聖歌417番「あなたの罪あやまちは」

- ①民数記6章22～27節
- ②ヨハネによる福音書13章31～35節
- ③ローマ人への手紙8章31～39節
- ④ピリピ人への手紙3章17節～4章1節

特別賛美
メッセージ

- ①「慈愛にみちた優しいお顔の神」大川従道牧師
- ②「栄光に満ち溢れた愛」川村喜輝補教師
- ③「愛によって勝利する」丸藤剛介伝道師
- ④「入国拒否！入国歓迎！」大川従道牧師

献 金
祝 禱

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 礼拝のみですが、再開できたこと、また皆様に再会できたことを感謝します！
2. 今週の集会予定ですが、☆早天祈禱会：火曜朝6時。☆WOGA集会：木曜午前10時半(昼食はなしですが、まだ未定)。☆準備祈禱会：土曜夜8時。
3. 来週の日曜も礼拝のみ。①8時半②10時半③13時半④夜7時行います。
4. 4月の予定は未定です。どうぞ、お祈りください。

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [3/22-29]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	ヨシュア記 11-14章	15- 17章	18- 20章	21- 22章	23- 24章	マルコ 1-3章	4- 5章	6- 7章
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇

「わたしの民、エシュルンよ！」

～神様のこの上ない愛情を込めた呼び名～

「エシュルンの神のような方はほかにはない。あなたを助けるために天を駆け／力に満ちて雲に乘られる。いにしへの神は難を避ける場所／とこしへの御腕がそれを支える。神はあなたの前から敵を追ひ散らし／『滅ぼし尽くせ』と言われた。イスラエルは安らかに住み／ヤコブの泉のみが絶えない／穀物と新しい酒に富み／天が露を滴らす土地に。イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があるか。主はあなたを助ける盾／剣が襲うときのあなたの力。敵はあなたに屈し／あなたは彼らの背を踏みつける。」申命記33章24～29節 [新共同訳]

今月中は難しいと思っていましたが、本日このようにして教会を再開できることを主に心より感謝致します！モグラのように洞穴にこもって冬眠していた動物のような気分でした。文字通り春になり、桜も咲きそうなくらい暖かくなってきています。凝固まった身体をゆっくり空に向かって伸ばしながら、新鮮な空気を体いっぱい吸い込んで、身も心も新しい自分になったかのようにリフレッシュした気持ちで本日を迎えています。

洞穴状態の中でそれぞれがそれぞれの形で主の前に出て聖書を読み、祈り、礼拝をお捧げしました。こんな体験は生まれて初めてでしたが、本当に不自由極まりないもどかしい状況でした。(でも入院中の方々はもっともっと辛い状況です。祈りましょう！)

この主との祈りの中で通読してきたのが、申命記、今はヨシュア記です。申命記はモーセがイスラエルの民に遺言を語った内容ですが、その最後に主の言葉がモーセに語られます〔申命記31章16～21節参照〕。神様は前もってイスラエルの裏切りを熟知していました。それでもなお彼らを選び、愛し、養い、育て導かれました。「エシュルン」とは、神様がイスラエルの民を愛情たっぷりに呼んだ表現ですが、「正しい者」「高潔な者」という意味です。これから申命記以降旧約聖書に描かれるイスラエルの状況はそれとは全く程遠く汚れた、情けない状況でした。それに関わらず、神様は忍耐を持って待ち続けられました。イエス様のご登場まで(モーセの死後約1400年後)です。神様は御顔を隠されただけで、イスラエルを捨てたわけではありませんでした。しかし、ユダヤ人たちから見ると完全に神様は自分たちを見捨てたと感じたわけです。

今の日本、世界はどうでしょうか？神様の豊かなご愛を感じるでしょうか？それとも感じないでしょうか？後者の方が有力だと思います。しかし、それでも神様は人類を愛し、期待して信頼しているのです。「あなたは本当は正しい、高潔な存在であり、神の民、神の子なのです！」と主は語っておられると感じました。主の愛は決してあきらめない愛です。どんな時も、どんな状況でも主を信じ、主のみことばを握りしめて歩んで行きましょう！